



大河津分水サンスフェスタ 同時開催 OHKOUZUday

令和の大改修トークライブや堰の操作室等の見学会のほか、夕方の堰周辺を歩くサンセットツアーなどを、越後平野を水害から守り続けている大河津分水への感謝の気持ちを込めたイベントを開催しました。



日時：令和7年8月30日(土)
会場：信濃川大河津資料館他
参加：256名
共催：Love River Net・新潟経営大学中島ゼミ・燕市
後援：国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
協力：NPO法人信濃川大河津資料館友の会・ATC (株)エコノス



トークライブの一環として行った講演会では、新第二床固JVの荻野さんより工事の苦勞や最新の技術についてお話いただきました。



ラジオパーソナリティの遠藤麻理さんにもお越しいたゞき、会場の皆さんはもちろん、ゲストの皆さんも交えて、川にまつわるお話を楽しみました。

普段は入れない堰の操作室の見学会では、あまり知られていない堰の操作の苦勞やより安全に確実に操作する工夫などを説明しました。



夕焼けの大河津分水を眺めながらのサンセットツアーでは、100年前の大河津分水工事の計画平面図や堰の設計図などの貴重な実物資料も解説しました。

新潟経営大学中島ゼミの皆さんが設置してくれた大河津神社は、参拝するとミストシャワーが吹き出し、熱中症対策にも活躍しました。

大河津分水イベントレポート 2025



同じく新潟経営大学中島ゼミの皆さんのアイデアで実現した「燕こびん」。大河津分水の砂が詰めこまれ、願いは通ずるという意味があります。



信濃川大河津資料館3階では風作りも行い、参加者の中には大河津分水にまつわるイラストを描いてくださる方もいらっしゃいました。



竹水鉄砲づくりのコーナーでは、2つの竹筒を組み合わせて水鉄砲を作成。水鉄砲の出来具合によって、より遠くまで水を噴射することができました。



オーナメントづくりは、カラフルな糸を骨組みに巻きつけて、川をイメージしたり、堰をイメージしたり、オリジナル飾りをつくっていただきました。

来場者の声

- ・普段立ち入れない操作室の見学ができたのは貴重な経験でした。丁寧に説明いただき、楽しく分かりやすかったです。（堰操作室・魚道観察室見学会）
- ・大河津分水についてざっくりとしか知らなかったけれど、今回のトークライブでより深く知ることができました。たくさんの人が時間をかけて人の生活を守るために大きな工事をしているかっこいいお仕事なんだなと思いました。（トークライブ）
- ・今回初めて大河津分水サンセットツアーに参加しました。貴重な資料の実物を見たり、堰のライトアップを見ることができてよかったです。（サンセットツアー）



令和7年3月に完成したばかりの燕市浄水場の水を使ったお茶づくりのコーナー。おいしいお茶を楽しめました。